

令和4年度第1回さぬき市総合計画審議会 会議要旨

- 1 日 時 令和4年5月13日（金）10時00分～11時10分
- 2 場 所 さぬき市役所4階 第2委員会室
- 3 出席者 【委員】石原委員 岩瀬委員 大風委員 太田委員 大塚委員 尾崎委員
黒川委員 中澤委員 三井委員 頼富委員
【市】向井審議監 中野総務部長 総務部政策課 間嶋課長
矢野課長補佐 原田課長補佐
【委託業者】(株)ぎょうせい
【傍聴】2名
- 4 会議次第 1 開会
2 会長挨拶
3 議事
(1) 後期基本計画策定スケジュールについて
(2) 施策評価シートについて
(3) 市民ワークショップについて
4 その他
5 閉会
- 5 配布資料 資料1 第2次さぬき市総合計画後期基本計画策定スケジュール
資料2 施策評価シート
資料3 市民・中学生合同ワークショップについて
追加資料 第2次さぬき市総合計画後期基本計画序章（案）
- 6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	<p>(10:00) 皆さん、おはようございます。</p> <p>本日は御多忙の中、令和4年度第1回さぬき市総合計画審議会にお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日、梶山委員は欠席となっておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>議事に入ります前に、会議の公開についてご報告させていただきます。本審議会の会議につきましては、附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針に基づき、昨年の第1回本審議会において公開することをご了解いただいております。本日の審議会におきましても公開することをご報告させていただきます。傍聴者がおいでますことをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思いますが、中澤副会長よりご挨拶いただき、そのまま議事の進行にお移りくださいますようお願いいたします。</p>
副会長	<p>(副会長挨拶)</p> <p>それでは、議事を進めます。</p> <p>まず、本日の会議ですが、12時00分を目途に終了したいと考えておりますので、御協力をお願いします。</p> <p>それでは、議事(1)「後期基本計画策定スケジュールについて」、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	(事務局説明)
ぎょうせい	(ぎょうせい説明)
副会長	質問や意見があれば伺いたい。
委員	トップインタビューが市長と教育長なのはなぜか。市長は分かるが、教育長が関係してくるのは、基本目標の4番目だ。その他にも基本目標はある。
ぎょうせい	基本的に行政部局のトップは市長です。 市長に教育について聞きにくいことがあります。教育現場のことについては教育長に聞くというスタンスです。そのため市長と教育長に伺うとしています。
副会長	トップインタビューは二人同時に行うのか。
ぎょうせい	時間を変えて実施します。市長は全体、教育長は教育に絞って話を伺います。 市長に教育について伺うと「教育長に聞いてほしい」とときどき言われます。そういう意味で配慮しています。
委員	約5年前に開かれたワークショップは1回で終わった。今回は3回も開催するのか。
ぎょうせい	最近はSDGsが盛んに取り上げられていますが、さぬき市も相当力を入れています。 3回のうち初回は勉強会で、総合計画やSDGsについて学びます。2回目はさぬき市が抱える課題や後期計画に反映する重点的なものを探っていきます。それらを踏まえて3回目はSDGsに特化して行います。
副会長	ほかになれば、議事(2)「施策評価シートについて」説明願いたい。
ぎょうせい	(ぎょうせい説明)
副会長	質問や意見があれば伺いたい。
委員	中期基本計画、基本目標別計画に異を唱えるものではないが、住みやすいまち、人口減少を止めたいなど、行政として大タイトルがまずあるはずだ。それに伴い企業誘致や防災、子育ての問題があるのだと思う。 地域創生の会議に参加した際に話したこともあるが、人口を増やす、移住を促進するために雇用の場が必要というのは切り口の一つだ。しかし、同じような環境の坂出市の場合、三菱や川崎重工、ライオンなどがある番の州臨海工業団地を持っているものの、人口が減り続けている。事業所を誘致すると、法人税や固定資産税が増え財源が増えるので、社会インフラ整備などに予算を振り分けることができる一方で、今の時代「雇用の場の確保＝人口増加」とはならない。 もう少し施策と施策の連携を、実施部隊であるさぬき市の部署がイメージすることが大事だと常々思っている。違う切り口での指標があるとよい。

ぎょうせい	<p>資料2は中期基本計画の中でどういう取組を行い、どう評価されたのか、行政側の視点から見たものです。</p> <p>視点はさらに二つあります。まず市民の視点です。そのためにアンケートを行い、これからワークショップも実施する予定です。これらでデータが多く取れます。次の視点はトップインタビューです。この三つの視点からいろいろな事象をみていきます。</p> <p>資料2は、あくまでも施策別の評価です。しかし、市民には施策というイメージではなく「これに力を入れてほしい」「こういうまちであってほしい」というのが出てきます。これらをまず整理していくのが資料1の「(5) 主要課題の整理」で、これがとても重要です。例えば人口が伸びないことについて、こういう施策を実施したがこういう問題が出てきた、そこで後期基本計画では、こういう取組を優先すべきではないかといったことです。この課題の整理で、委員が話されたことが垣間みえるような仕組みにしたいと考えています。</p>
委員	<p>例えば事業所への移動が徒歩か自転車しかない時代なら、事業所の近隣に人は住む。しかし車での移動が可能になれば通勤圏が広がる。実際私の事務所でも、さぬき市外の社員が3割を下回らない、居住地が広域となっている。また「ゆめタウン」や「フジ」の商圈は、車で1時間くらいだ。だからさぬき市から高松市の「ゆめタウン」へ行く。「ゆめタウン」もそれを想定して、大きな駐車場にしている。</p> <p>課題を抽出するときどういう背景にあるかを整理すれば、条件が変わるとするのはそのとおりで、DXもその一つだと思う。課題の抽出にもう少し思考を働かせる必要がある。</p>
ぎょうせい	<p>序草案の中にある「計画策定の背景となる社会潮流」は、とても大事な要素です。委員のご指摘どおり、商圈が広域化しているというのは当然のことです。</p> <p>人口減少は絶対に防げません。増えているところもありますが、増加させるのは無理だという話もあります。そういったバックグラウンドを含め「課題の整理」で整理をすることにより、中期基本計画での問題点を浮き彫りにしていくことができれば一番良いと思っています。委員の意見を参考にしながら、分析していきたいと思います。</p>
委員	<p>人口対策として企業誘致の助成や子育て、福祉、移住促進のリフォームの補助などがあるが、限られた財源をそれぞれに薄く使うのでは実効が上がりづらいと感じている。先ほどの話でいくと、多くの助成金を出して企業誘致した場合、助成金を上回る税金が入って財源が増え、他の事業に充てがえるならよいが、出した助成金の方が多くは他の施策の予算が削られることになる。誘致した企業に勤める人も市外から来るとなると、何をしているのかとなる。</p> <p>昔と比べて行政は大変だと思うが、課題の絞り込み方について、頭で汗をかいてもらいたい。</p>
ぎょうせい	<p>トップの判断が大きいと思いますので、そこまで踏み込むのは微妙なところがあります。</p> <p>例えば「企業誘致したが人が住まない」なら、住む形にできないかと考えるというのがあります。北九州市では「仕事や買い物などは福岡市に行ってください。しかし北九州市に住んでください」という方向転換がありました。極端ですが、そういう大胆な視点が可能かどうか探っていく必要があります。</p> <p>さぬき市の場合、重点プロジェクトがあったので、それを評価しないとけません。交流人口などを増やすためにどうしたらよいかを検討するのが与えられたミッ</p>

	<p>ションと考えているので、ご理解いただければと思います。</p>
副会長	<p>その他にあれば伺いたい。 なければ、議事（３）「市民ワークショップについて」説明願いたい。</p>
ぎょうせい	<p>（ぎょうせい説明）</p>
副会長	<p>質問があれば伺いたい。</p>
委員	<p>ワークショップの参加対象者に中学生がいる。市内には中学校が三つあるが、地域によって子どもの思いや希望、期待が異なる。どのように募集するのか。</p>
事務局	<p>中学生は、事前に教育委員会を通して各校の校長先生に話をし、了解をもらっています。学年を問わず、生徒会活動をしている生徒中心、部活をしている生徒中心など、それぞれの学校で考えがあるようです。</p>
委員	<p>分かった。</p>
副会長	<p>会場は決まっていないということでしょうか。</p>
事務局	<p>現時点では、これまで審議会を開催していた３階の３０１、３０２を使用する形にしています。</p>
副会長	<p>ほかにあれば伺いたい。</p>
委員	<p>１ページの開催日・時間には「説明１時間 30 分、意見交換 30 分」とある。30 分では十分な意見が出ない。</p>
ぎょうせい	<p>この時間割は１回目の勉強会のみです。２回目、３回目の説明は５分程度です。</p>
委員	<p>SDG s をK J 法で行うのは適切なやり方だと思う。 17 の目標全部に対応できているかは別として、会社や地域でも何かしらやっており、各法人で「これとこれをやり、さらにこれらに強力に取り組む」などと宣言したりしている。 しかし、資源や雇用機会均等法、人権という話になるので、SDG s というとき皆が引く。今行っていることを当てはめて、さらにどうしようというのをお願いしたらよいと思っている。 約半年前、津田高校で１時間授業をした。例えばお母さんが家庭でごみの分別をしている。自治体で違うが、昔は瓶や缶、ペットボトルを分別していたのが、今はプラごみも分別となり、菓子の袋などがプラごみとなっている。また牛乳パックの紙や刺身パックのトレイも分別になっている。しかし高校生に「食べたお菓子の袋はどうしている？」と聞くと「ごみで捨てている」と言うので「それはあかんね」となる。こういうことはSDG s の概念に行く前のことだ。ペットボトル１本みても、バーコードの下を見ると「キャップ、ラベルはプラ、本体はペット」と謳っているから、それぞれ分別しないといけない。前提として、まずそういうことを理解しないといけない。 また、約 15 年前、子どもに夏休みの自由研究でやらせたのだが、ペットボトルにある△の中に 1 のマーク、このほかに△に 4、△に 3 というものもある。△に 4 と</p>

<p>ぎょうせい</p>	<p>いうマークがあるのは、マクドナルドのトレイだった。このように世の中には、プラスチックリサイクルマーク一つとっても混在することをもっと注意深くみながら、SDGsの概念にどう当てはめていくかを最初の講義に入れてもらいたい。そうしないと表面的なものになる。</p> <p>さらにプルタブを集めると途上国の車椅子になるという活動が昔も今もある。ベルマークもそうだが、これらの活動はSDGsと言われる前からやっている。1時間の講義で全てを周知するのは難しいが、そういったことを認識した上でSDGsをどう考えるかというところに持って行ってもらいたい。</p> <p>市民や中学生、それぞれの意識レベルが違います。意識が高い人もいれば、そうでない人もいます。逆にいうと、誘導ではありませんが、こんなものだと話した上でSDGsには17のゴール、169のターゲットがあるので、ターゲットも一緒に勉強してもらい、またSDGsを行うときは、1回目の資料を持ってきてもらうという段取りでいこうと思います。</p> <p>今回求めているのは、細かいものではありません。SDGsの目標やターゲットで、これはさぬき市用だというのを皆で考えたとき、良い言葉ができればよいと思っています。いくつか出てくれば、すごい発見だと思います。そういったものを目標にした方が、参加者にも負担になりません。委員が話されたように、まず17のゴール、169のターゲットの説明をしないといけないと思っています。その上で、皆さんにどれだけ浸透しているのかは次のステップです。</p>
<p>委員</p>	<p>「世界の貧困をなくそう」というのがあるが、アフリカ、ソマリアといっても、さぬき市とはつながらない。しかし、地域に育児放棄でごはんを食べられない子どもがいて、スーパーの試食でおなかを膨らませているというのがあったので、フードドライブや子ども食堂の活動になっていく。高校生にも話したが、まずさぬき市がどういう状況か、こういう社会でどんな人がいるかを理解した上でないと、どういうアクションを起こすべきかにつながらない。まず概念として学習するのは大事で、ワークショップの中で地域の実情を伝えた上で、中学生はどうあるべきかをカードに記載されるような進め方をしてもらえると有り難い。</p>
<p>ぎょうせい</p>	<p>基本的に、こちらが恣意的なものを求めてはいけません。中学生の場合、例えば、ある子どもが隣の家の子のお母さんの帰りが遅い、うちにときどき来ているという身近なことから貧困について問題意識を持ち、何とかしたいと思っているなら、ワークショップで書いてくれると思います。そしてそれを引き出すのが私たちの役目だと思っています。</p> <p>個人の意思に関わるのですが、委員の意見を参考にしながら、できるだけ浸透できるように頑張りたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>皆に浸透するのは時間がかかると思う。現状や今役立っている活動から一步踏み込んで何ができるか、意識していなかったがこんなことができるなどがあればよい。</p> <p>例えば、学校の制服について、制服の是非がある一方で、私服にして格差が出ないように制服にするということがある。このように、なぜそうなのかと思うことでも、裏からみるとほかの意図があったりする。制服を人権のテーマで考えると、何が正しいのか答えは見いだせない。つまり、出せる答えはいろいろとあるが、その背景を理解した上で進めていく、そしてそうではないことにも配慮しながら決めていくことだ。</p> <p>ワークショップで様々なことが挙がってくると思うが「ワークショップで言った</p>

	<p>のに前に進まない」となると、問題が生じることもある。進め方やテーマの振り方を考えてもらいたい。</p>
ぎょうせい	<p>正直いって難しいです。自分たちがどこまで踏み込めるかの判断が大事になってくると思います。</p> <p>少なくともワークショップに関しては、皆の熱い思いが出てくればよいと思います。ご理解してもらえればと思います。</p>
副会長	<p>ほかにあれば伺いたい。</p>
事務局	<p>ワークショップの日程、市民への周知方法についての補足説明</p>
副会長	<p>募集期間はどのくらいか。</p>
事務局	<p>第1回を7月末に行いたいと考えているので、6月末から7月下旬までと考えています。新型コロナウイルス感染症の関係で人数を増やしていくため、定員に達すればそこで募集は終わります。先着順でお願いする予定です。</p> <p>広報は、6月20日に出る7月号に掲載する予定です。ケーブルテレビや音声放送でも行います。</p>
副会長	<p>その他にあれば伺いたい。</p>
委員	<p>ワークショップ3回全部参加できる人を募集するのか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
副会長	<p>ワークショップについて、ほかにあれば伺いたい。</p> <p>なければ、これで議事を終了とする。</p> <p>その他、事務連絡等があれば事務局より願いたい。</p>
事務局	<p>次回の会議について</p>
副会長	<p>閉会挨拶</p> <p>閉会（11：10）</p>